



街のいえ -分節感と一体性-

かつて商業施設であったこの家は、周囲にあってしまった商業ビルが
 隣の敷地に建ち、駅前にも少ない学生の居場所となる機会を捉え、
 近隣層の賑わいを呼び込むべく、様々な集客のシーンが盛り込まれ、
 それぞれの部分で異なる用途を兼ね備えたレジデンスの姿を創り出した。
 そして学生の居場所をつくるに同時に夜明けにぞの駅前、
 新しい街の賑わいをプラスすることと大々を敷地にあって、新しい街
 賑わいをつくることと生まれる街の活性化にも貢献した。

